

第5回耐震改修促進計画改定検討会 議事録（要旨）

日時：令和8年3月23日（月）13:30～14:00

場所：兵庫県学校厚生会館 3階大会議室

テーマ	主な意見
全体	<p><計画全般></p> <ul style="list-style-type: none"> ・残り数%の耐震化率の上昇が困難な中、本計画で示されたプッシュ型意識啓発により、必要な住民に対して情報を伝え、需要に応じて支援を広げていくという方向性が示されたことは大変意義がある。 ・様々なことに取り組んでいける計画案になっているので、これから実際の運用につながっていくことを期待している。 <p><部局間連携></p> <ul style="list-style-type: none"> ・所管部局ごとの対応に留まらず、防災対策として必要な事業を総合的に把握し、部局を横断した協力体制を整備して対応していくことが望ましい。
住宅	<p><意識啓発></p> <ul style="list-style-type: none"> ・住宅の耐震化において、借家にお住まいの方が取り残されないよう、目配りしていただきたい。 ・建替えや大規模改修を検討する高経年マンションは今後まだまだ出てくるので、耐震化の必要性に関する情報伝達をしっかりとってもらいたい。 <p><耐震化の取組></p> <ul style="list-style-type: none"> ・県・市町連絡会議では、事業に取りかかれていない市町がやってみようと思えるような、上手な情報交換をして欲しい。 ・住宅所有者は、耐震改修に限らず、バリアフリー化やZEH対応等、住宅に関する様々な相談を希望している。アドバイザー派遣制度についても、各内容に特化した専門家を派遣するのではなく、住宅全般の相談に一本化して対応できるようにした方が便利なのではないか。 ・事業者による空き家の買取再販事業においても、耐震性がきちんと確保されるよう、所管課とも連携しながら取組を進めてもらいたい。 <p><2000年基準について></p> <ul style="list-style-type: none"> ・旧耐震基準住宅だけでなく、2000年基準の住宅についても耐震診断の支援を行っている県もある。現時点では、旧耐震基準住宅に絞る考えでよいが、2000年基準の住宅についても意識はしておくべき。 ・2000年基準の住宅の空き家も増えてきている。一旦リフォームしてしまうと、後から耐震化を求めても対応してもらえない状況になるおそれがある。そうなってしまう前に、対策を考えておくことも必要である。